

今後の進め方及び スケジュールについて



令和8年2月20日

委員会の所掌事項及び今後の流れ(案)

委員会の所掌事項(津市船舶建造検討委員会設置要綱第2条)

- ◆ 次期船舶の建造に係る仕様等の検討に関すること。
- ◆ その他次期船舶の建造等に関すること。

今後の流れ(案)

基礎調査・船舶仕様等の検討・**委員会での御意見**
を踏まえて次期船舶の建造に係る仕様等を決定

～令和8年11月頃

次期船舶の基本設計 ※

令和9年2月頃
～令和9年9月頃

次期船舶の建造 ※

令和10年1月頃
～令和11年頃

※決定した仕様を満たす船舶を建造可能な造船所の空き状況を考慮して時期を検討

今後の進め方(案)

令和8年度当初予算の議決をいただいた後・・・

年月	内容
令和8年4月～	<p>これまでの運航実績の分析や今後の需要予測等を行うための基礎調査を開始</p> <p>基礎調査と並行して、船舶の仕様(規模、船型、航行能力、搭載主機関等)の比較検討、運航体制・ダイヤの検討、事業採算性の検証などを行うため、船舶仕様等の検討を開始</p>
令和8年5月～	<p>上記基礎調査及び船舶仕様等の検討について、その進捗を津市船舶建造検討委員会に随時報告し、御意見をいただきながら進める</p>
令和8年11月頃	<p>基礎調査、船舶仕様等の検討及び津市船舶建造検討委員会での御意見を踏まえ、新船舶の基本設計発注の際に必須となる船舶の規模や性能等の仕様を決定</p>
令和8年12月	<p>令和8年度12月補正予算に、基本設計費用を上程(決定した仕様を満たす船舶を建造可能な造船所の空き状況を考慮)</p>

基礎調査(案)

① 運航実績等の分析

(1) 利用者数

・年度別・月別・曜日(平日・土日・祝日)別、時間別の利用者数のクロス集計による分析

⇒どのような時期の何時便に乗船者が多いか

(2) 中部国際空港のフライト便数等

・国内線、国際線の発着便の発着時刻、目的地・出発地及び便数の分析

⇒利用者数と中部国際空港のフライト便数等との相関関係の分析

(3) 利用者の属性

・アンケート等による乗船客の出発地、目的地、用件(仕事・観光・帰省など)、移動手段等の分析

⇒誰が、何のために、どこから、どこへ行くために乗船し、津なぎさまちからどのように移動するか

基礎調査(案)

① 運航実績等の分析

(4) 三重県内からの中部国際空港へのアクセス手段

・アンケート等による中部国際空港へのアクセス手段と理由の分析

⇒船、電車、自動車など、アクセス手段別の割合及びそのアクセス手段を選んだ理由の居住地別の分析

(5) 利用者ニーズ

・アンケート等による津なぎさまちー中部国際空港間の運航時間・費用の分析

⇒何分・いくら以上掛かったら他のアクセス手段(電車、自動車)を選択するか

(6) サイクルシップのニーズ

・アンケート等によるサイクルシップのニーズ分析

⇒県外から津市又は県内へのサイクリングの需要があるか

基礎調査(案)

② 需要予測

(1) 「① 運航実績等の分析」等を踏まえた需要予測

⇒これまでの利用者数実績、アンケート結果や他のアクセス手段との比較、中部運輸局の「中部国際空港における海上アクセス活性化事業」の調査結果の分析等による
需要予測

(2) 外的要因を踏まえた需要予測

⇒政府が目指す訪日外国人旅行者数6,000万人という目標や、中部国際空港の第2滑走路建設計画等を踏まえた旅客数予測、リニア中央新幹線の開通など、
外的要因を踏まえた需要予測

③ 船舶建造に係る活用可能な補助制度の研究・検討

(1) サイクルシップ(※)等の、船舶建造に係る活用可能な補助制度の研究及び本市での活用可能性について検討

(※)インバウンドの受入環境整備等を目的としてサイクルシップ(自転車解体せずに乗船することができる船舶)の建造等に係る経費に対する補助制度。 補助率:補助対象経費の1/3

船舶仕様等の検討(案)

基礎調査(運航実績の分析や需要予測等)を踏まえて・・・

① 次期船舶の仕様の比較検討

需要予測等のほか、津航路の気象・海象も考慮した船舶の仕様(規模、船型、航行能力等)の比較検討

検討項目	検討内容
規模 (総トン数等)	需要予測、津航路の気象・海象等を踏まえた船体の規模 (総トン数、寸法など) の検討
船型	高速性、安定性などを踏まえた検討【双胴船、単胴船など】
船質	高速性、安定性、耐久性、耐腐食性などを踏まえた検討【アルミニウム合金、FRPなど】
エンジン	出力 (航行速力)、メンテナンスのしやすさ (頻度・費用・部品供給)、耐用年数等を踏まえた検討【海外製エンジン、国産エンジンなど】
燃料	燃料費高騰や環境への配慮等を踏まえた燃料の検討【軽油、電気、ハイブリッドなど】
機能	バリアフリー対応、多言語対応、フリーWiFi、USBポート 等

船舶仕様等の検討(案)

② 運航体制等の検討

運航体制、運航ダイヤ、運賃及び「① 次期船舶の仕様の比較検討」で比較する次期船舶の建造に係る費用等の検討

③ 事業採算性の検証

基礎調査で行う需要予測、燃料費高騰の変遷及び「② 次期船舶の仕様の比較検討」を踏まえた事業採算性の検証



カトレア



フェニックス



代替船舶「REDBIRD」

船舶仕様等の検討(案)

④ 建造可能な造船所の調査

「① 次期船舶の仕様の比較検討」で比較する次期船舶の建造が可能な造船所及びその空き状況等の市場調査

⑤ 次期船舶建造後の体制(在り方)の検討

次期船舶の建造後において、既存船カトレアの後継となる新船舶の建造等を見据えた体制(在り方)の検討

⑥ 次期船舶の運航期間中における公設民営の検討

次期船舶の運航期間中の当該船舶の傭船料や、次々期船舶の建造等に係る費用負担等、公設民営の役割分担の検討

(参考)カトレアの傭船料:23万2,000円/月

今後のスケジュール(案)

プロジェクト	内容	令和7年度			令和8年度			令和9年度				令和10年度					
		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
新船舶建造																	
主 ; 津市	12月補正予算		●														
	船舶建造検討委員会			●	→												
	令和8年度当初予算			●													
	基礎調査業務委託				→												
	船舶仕様検討業務委託				→												
	令和8年度補正予算																
	基本設計※							→									
	令和9年度補正予算																
	船舶建造工事※												→				
	建造監理※												→				
運航事業協定	現 協定・裸備船契約	→															
	新 協定・裸備船契約				←			→									

・潜在需要及び今後の需要予測
 ・収支予想及び収益分岐点
 ・サイクルシップの導入可能性
 (サイクリング需要、課題)

・船舶の仕様検討
 ・運航体制、運航ダイヤ、運賃の検討

造船所の空き状況による
 (工期も概算)

契約条件協議

※補助対象